

私の少年時代の夏休みは頭の1週間くらいラジオ体操が学校の校庭であって、出席の印鑑をもらうカードを首につるして朝早く行った記憶があります。そして思いつき宿題があつて、それを早くこなそうと努力するのですが、結果的にはいつも8月の末に追われてしまうのです。そしてボーイスカウトの長期と言つても4〜5日ですが、他県などに行つて訓練します。商家でするので親との旅行は不可能で、その多くの時間は鎌倉の大叔父に預けられます。ですから、近くに本牧、根岸、磯子など海水浴場はあるのですが、あまり泳いだ記憶がありません。鎌倉の海岸もほとんど海水浴場ですが、大叔父との夕方の散歩の思い出だけがあります。中学に入って学校指定の海水浴場が本牧八聖殿近くにあり、なぜか「八王子海岸」と呼ばれ、午前中は「Y校」午後は「当時の女子商業」と決められ、一週間遊泳訓練がありました。仲間は結構泳げるのに私は平泳ぎで5メートルも行くとその上は無理でした。二日目にテストがあつてランクが決まるのです。泳げる子は白い帽子に黒線1本から3本、それ以上は赤線が付くのです。結果、私は無印でした。この屈辱は未だに覚えていっているのです。

家に帰って父親に報告すると、そうだな、あまりプールや海水浴にいけなかったからな。これから来年のために元町プールで練習するか、幸い所長が知り合いだ、特別にたのんでみる、そうだな今すぐ行こう」と言つてサイドカーに私を乗せていきました。所長は話しを聴いてすぐOKしてくれました。

「プール監視員の助手のような役で、責任はなく、出勤、退勤は自由、プールを使つてOK。ただし給料はなし、弁当も持参でどうだとさっぱりした言葉で良かったら明日から」と言うわけで次の日からプール人間になりました。

父親からは「あのプールは湧き水なので冷たいから注意しろ」と言われました。外国人が多いので、横浜では元町プールは正式な水着でないと入れないのです。監視員さんが休み時間に平泳ぎ、横泳ぎ、抜き手、バックを教えてくれて私はすぐにマスターし、8月の終りには500メートル泳いでも疲れなくなりました。このプールで500メートル泳げれば、海水だと5キロメートルは大丈夫さと言われました。浮力が違うよ、塩分で身体が軽くなるからと言ふことです。

翌年、最初のランク付けで私が赤線を付けた帽子を被つていたので、皆は驚いたのは当然でした。さらに皆を驚かせたのは八王子海岸から東京湾のセントーに向けての遠泳(5海里―約8キロメートル)の参加者に私の名前があつたことです。5mしか泳げなかった私が8kmを泳ぐなんて信じられないからです。10隻くらいの小舟に囲まれて出発しました。小舟は途中棄権者のためです。気楽に泳いでいたのですがUターンの手前で喉が痛くなりましたので小舟に連絡するとお砂糖の付いたおせんべいを数枚投げてくれました。泳ぐ前に注意はされていましたがかなりショックを受けました。その後また1難、これは気味の悪い感触です、クラゲの大群との出会いです。小舟からのアナウンスでは「電気

中区妙善寺・吹奏楽発祥の地にて
天野一平先生、福島桂子先生、松永団長



【写真・右】東六忍にて
祝・長寿90歳中野陽子様
松永団長



【写真・左】ラポールにて
ミュージカル「ワタシノユメ」



クラゲではなく人体に影響がないのでしばらく我慢しろ」でした。いよいよ海岸が近くなり足が砂に届きましたが、歩けず座ってしまいました。他を見ると皆同じ状態であったのです。やっと這い上りました。完泳した者は参加150人の中で58人でした。私もやりました。

歴史の先生から聞いた上杉鷹山の言葉が浮かんできます。「成せば成る、成さねば成らぬ何事も、成らぬは人の成さぬ成りけり」。この努力と自信は自分の誇りです。よくやった。私は自分で自分を褒めました。遠い夏休みの強い印象です。

さて、この夏休み、昨年こどもミュージカルで使用した新横浜の「ラポールシアター」でやすらぎコンサートが主催するチャリティーショーにゲストとして招かれ、7月、関内ホール公演しましたこどもミュージカル「ワタシノユメ」のダイジェスト版をご披露しました。主催する団体は月1回開催で、その日は「第251回」と言いますから21年も続いているのです。公演は子供たちから元氣をもらったというお褒め言葉を頂くなど大勢の観客から喜ばれました。

また現在、県民ホール主催のオペラ「カルメン」の出演者たちはフランス語の歌を練習中ですが、近々、東京へけい古場を移して立ち稽古に参加します。本格的なオペラに出演するにはそれなりの準備が必要です。こどもミュージカルから6人参加します。そしてジュニアコーラスではクリスマスキャロルのレッスンが始まりまっています。

8月25日(日)2020年2月15日(土)16(日)関内大ホールで開催される横浜市民ミュージカル「横浜どんたく物語」の初顔合わせがありました。どんたくとはオランダ語の日曜日「ZONTAG」のことです。居留地に住む外国人たちは日曜日の朝、教会の礼拝を終え、軍楽隊を先頭に街をパレードするのです。おしゃれをしてお互いや街の人たちとの交流を目的に自分たちの国のPRもあり、文明開化の風物詩です。毎回出演する方、初めての人たちを含んで80名余りの出演者によってレッスンの出発です。オリンピッククイヤーにふさわし演目がどのように展開していくか、横浜生まれのオリジナルミュージカルをご期待ください

2019・8・30 団長 松永 春

今後のスケジュール

9/21(土)	「歌の贈りもの」	横浜開港記念会館	900円
みんなで歌おう!楽しく歌おう! 横浜☆男声合唱団他 午後2時開演			
10/13(日)	「ハローよこはま」	県庁前特設ステージ	
赤い靴ジュニアコーラス出演 赤い靴ミュージカルキッズ出演			
10/19(土) 20(日)	県民ホール	オペラ カルメン	演出 田尾下 哲
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 児童合唱赤い靴ジュニアコーラス			
10/26(土) 27(日)	14時	杉田劇場	オペラ「真昼の夜想曲」
荒井間佐登 作、演出 赤い靴ミュージカルキッズの 喬圧りあ 出演 事務局抜割りき有			
10/27(日)	「東京湾大感謝祭」	10時から	詳細後日
赤煉瓦倉庫まえ特設ステージ 赤い靴ミュージカルキッズ出演			
12/24(火) 25(水)	クリスマス	キャロル	5時、7時
インターコンチネンタルホテル 赤い靴ジュニアコーラス出演			
2020/2/15(土) 16(日)	横浜市民ミュージカル「横浜どんたく」	関内大ホール	詳細後日